



京浜港湾事務所

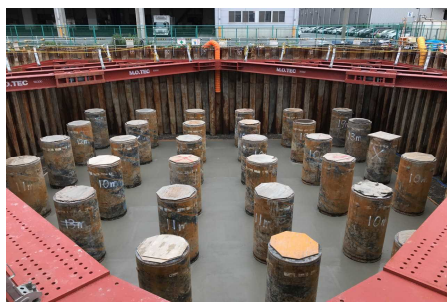
工事名 令和2年度 川崎港臨港道路東扇島水江町線
東扇島アプローチ部橋梁下部工事

工期 令和2年8月13日 ～ 令和4年3月22日

施工会社 東洋建設株式会社 横浜支店

工事内容 東扇島地区の既設道路と整備中の橋梁をつなぐ、東扇島アプローチ部橋梁下部工(基礎杭・橋脚・橋台・擁壁)を施工します。

●本工事の施工記録



掘削～均しコン完了(5工区)
令和3年7月



全景(5工区)
令和3年10月



全景(OFF工区)
令和3年10月

●進捗状況・お知らせ

現在5工区は躯体構築が始まりました。橋脚を10層に分け、鉄筋・型枠・コンクリートを施工していきます。
OFF工区も着工しました。国道と首都高速道路に挟まれた狭隘なヤードでの作業となり、夜間施工も行います。



川崎港東扇島～水江町地区 臨港道路整備事業

▽川崎港 臨港道路 位置図



▽工程表

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
測量・調査・設計(施工検討含む)															
用地取得調整・工作物移設															
関係者調整等(近接施工・上部工施工)															
施工															

本工事

▽施工位置図(完成イメージ)



5工区 施工状況

準備工

支障物
撤去工

基礎工

仮設工

掘削

構造物
構築

土工埋
戻し

RC橋脚工ー橋脚躯体工

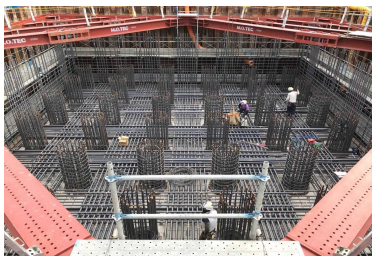
・コンクリート構造物には、**鉄筋**と呼ばれる鉄の棒が何本も入っています。将来、道路や車両を支えるために重要な構造物なので鉄筋の種類、太さ、本数、位置は細かく設計されています。**鉄筋とコンクリートはとても相性が良く**、お互いがお互いの弱点をカバーしあいながら強固な構造物になります。



基礎杭頭部を引き抜くと鉄筋が入っています。この鉄筋は、基礎杭と構造物を一体化させるために重要な役割を持っています。



鉄筋を組んだ後は、型枠を組み、ポンプ車を用いてコンクリートを打設します。



鉄筋とコンクリートの関係性は結婚式のスピーチでも例えて使われてるよ！



写真のように設計で決められた位置に、鉄筋を正確に配置します。



コンクリートは振動バイブレーターを使用し、型枠内の隅々まで行き渡るようにします。



OFF工区 施工状況

準備工

支障物
撤去工

基礎工

仮設工

橋脚・
橋台工

擁壁工

排水工

支障物撤去工

地中にはガレキのような障害物が残っている可能性があるため、試掘によって障害物があるかどうか明らかにし、基礎杭や構造物構築の施工に支障となる障害物を先行して取り除きます。



試掘状況

地盤安定処理工

大型重機が載っても倒れないよう地盤の支持力を向上させます。支障物の撤去とともにふるい分けを行い、固化材が均一に混ざるように留意して施工します。



安定処理状況

これだけ攪拌すれば安心だね！



夜でも安全に作業できるよ！

基礎工

杭打ちには、中掘工法という騒音・振動があまり発生しない工法で施工します。現在は、三点式杭打機という施工機械を組立て、本格的に杭打ちの施工を進める準備をしています。杭打ち施工では国道、首都高速道路沿いでの作業となるので、振動などに配慮し、施工を進めていきます



車線規制状況



舗装状況